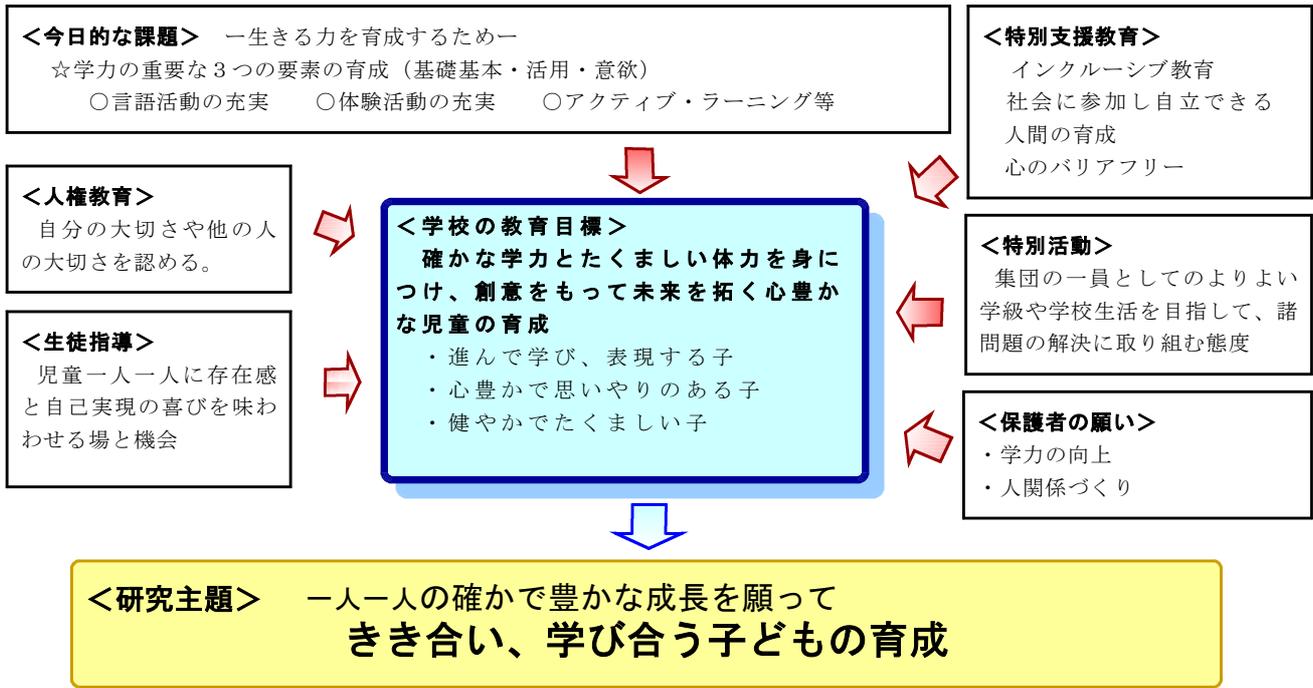


研究構想図



<求める子ども像>

- ・ 他者の発言を的確に聴き取り、他者に対して積極的に訊くことができる子ども
- ・ 関わり合うことば（他者の発言の引用、理由、例示、比較、要約）使った学び合いを通して、自分の思いや考えを広げたり、深めたりする子ども
- ・ 自己評価・相互評価を通して、学習内容や自己変容を簡潔に言語化する子ども

<研究主題について>

メインテーマの「一人一人の確かで豊かな成長を願って」は、教職員全員が児童一人一人の成長を願い教育を行っているという思いを表現したものである。

本校が考える『学び合い』とは、「互いの思いや考えを理解し合い、尊重しながら交流することを通して、一人一人が、基礎・基本を習得し、思考力・判断力・表現力を高めていく」ことである。したがって『学び合い』のある授業は、「a 他者との関わり合う中で、b 自分の考えと照らしながら、c 情報を取捨選択し、d 自分なりの考えをつくっていくことのできる授業」といえる。本年度も「学び合う」力を育成するために以下の2点を重点的に指導し、その効果を検証する。

1. 児童の興味関心を引く学習課題の設定。
2. きき合い、学び合うための支援や指導。

さらに、他教科等においても、研究テーマに迫る実践を行い、その成果を確認する。パフォーマンス評価やポートフォリオ評価、ペーパーテストなど多様な評価を意図的継続的に行い、児童理解に努めたいと考えている。

また、言語力の基盤となる積極的な読書活動を推進していく。

